

2. 保健室来室状況・災害発生状況について

(平成23年度は、7月末現在)

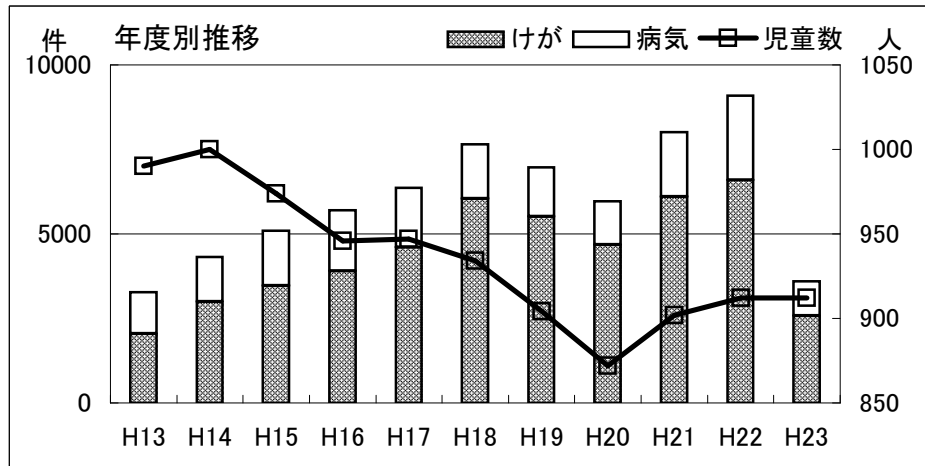
(1) 保健室来室状況

グラフ1

<年度別推移>

表1

年度	児童数	けが	病気	合計
H13	990	2039	1244	3283
H14	1000	2993	1327	4320
H15	974	3464	1627	5091
H16	946	3895	1802	5697
H17	947	4601	1755	6356
H18	934	6049	1601	7650
H19	904	5508	1464	6972
H20	872	4677	1288	5965
H21	902	6096	1909	8005
H22	912	6584	2509	9093
H23	912	2577	1024	3601

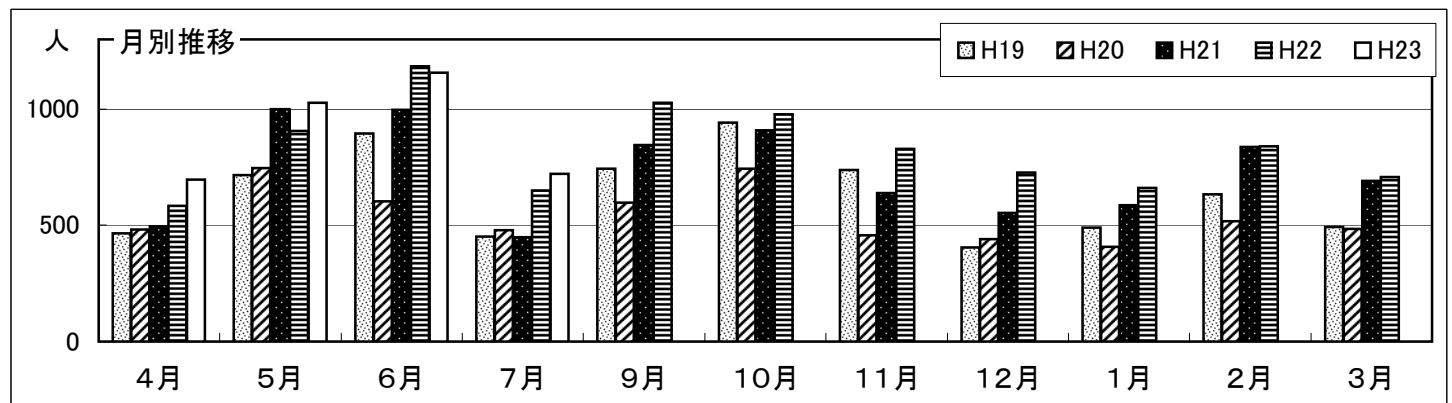


<月別推移>

表2

年度	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19	465	717	896	451	745	941	739	404	489	633	492	6972
H20	482	747	604	478	598	745	457	442	408	518	486	5965
H21	497	999	997	448	845	909	640	554	586	838	692	8005
H22	584	906	1184	650	1026	979	830	726	660	839	709	9093
H23	698	1026	1156	721								3601

グラフ2



<平成19・20・21・22・23年度の月別比較>

表3

	H19		H20		H21		H22		H23	
	けが	病気	けが	病気	けが	病気	けが	病気	けが	病気
4月	370	95	395	87	370	127	462	122	533	165
5月	588	129	599	148	826	173	752	154	737	289
6月	727	169	482	122	786	211	902	282	819	337
7月	320	131	389	89	350	98	438	212	488	233
9月	562	183	477	121	669	176	815	211		
10月	790	151	584	161	658	251	779	200		
11月	619	120	375	82	482	158	587	243		
12月	318	86	340	102	392	162	458	268		
1月	369	120	299	109	455	131	450	210		
2月	494	139	385	133	609	229	488	351		
3月	351	141	352	134	499	193	453	256		
合計	5508	1464	4677	1288	6096	1909	6584	2509	2577	1024

* 平成19年度・20年度と来室者数は減少していたが、平成21年度から再び増加傾向にある。(表1・グラフ1)

* 新学期当初、新しい学級や学校のリズムに慣れにくく、体調不良や不安になり来室する児童もいる。

* 個々の実態を把握し、一人一人のニーズに応じた保健室の取り組みの中で経過観察による対応を行っていることも来室者が増えた要因のひとつではなかないと考えている。

* 些細なことでも頻繁に来室してくる子や気になる児童については、担任・保護者と連携を取りながら個別・集団指導を行い、児童が心も体も健康で安心して学校生活が送れるよう保健室で支援している。

(2) 災害発生状況

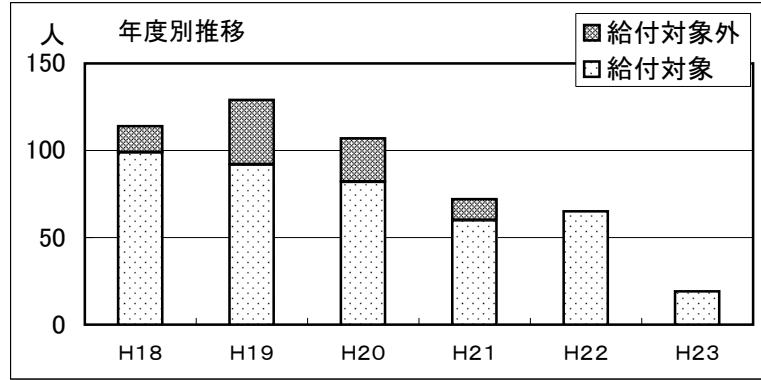
<年度別推移>

表1

	給付対象	給付対象外	総計
H18	99	15	114
H19	92	37	129
H20	82	25	107
H21	60	12	72
H22	65		65
H23	19		19

H22～は給付対象外は統計に入れていない

グラフ1

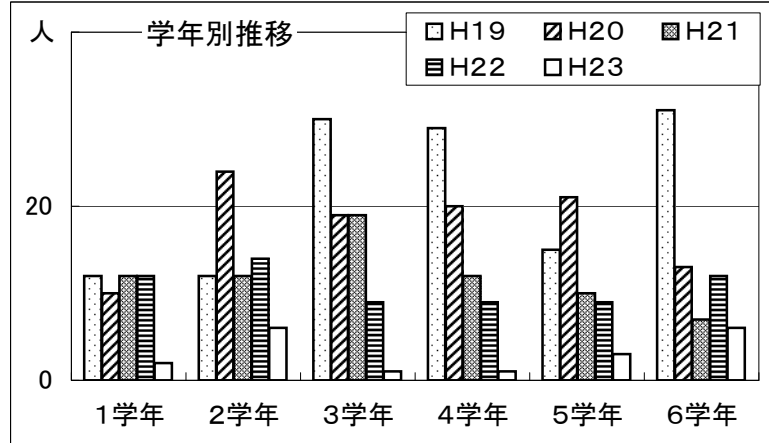


<学年別推移>

(人) 表2

	H19	H20	H21	H22	H23
1学年	12	10	12	12	2
2学年	12	24	12	14	6
3学年	30	19	19	9	1
4学年	29	20	12	9	1
5学年	15	21	10	9	3
6学年	31	13	7	12	6
合計	129	107	72	65	19

グラフ2



<月別推移>

(人) 表3

	H19	H20	H21	H22	H23
4月	6	14	3	5	4
5月	8	9	13	9	4
6月	13	5	4	8	7
7月	7	10	4	4	4
9月	17	6	6	7	
10月	14	20	11	9	
11月	26	10	8	6	
12月	6	6	5	6	
1月	10	5	3	4	
2月	9	10	7	0	
3月	13	11	8	7	
合計	129	106	72	65	19

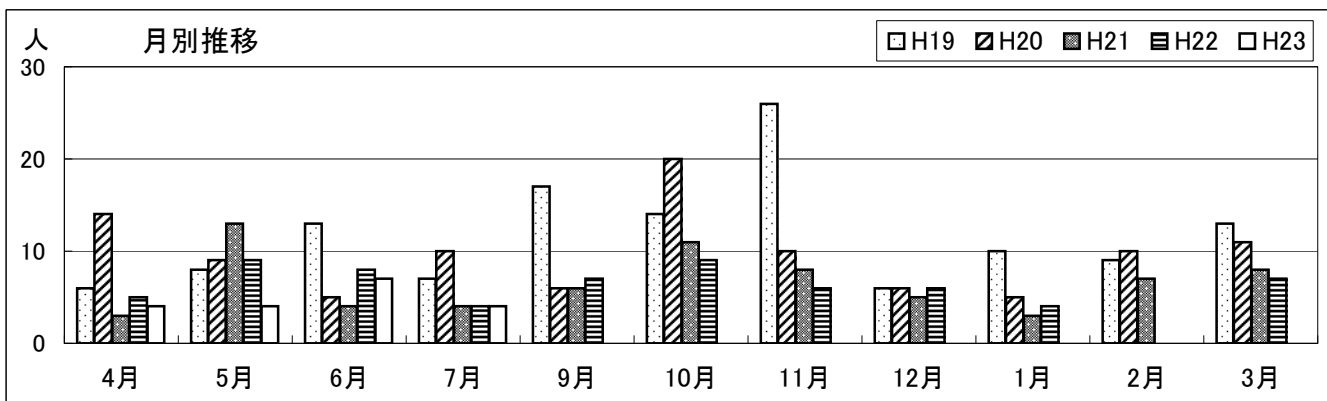
* 平成19年度をピークに減少傾向にある。
(表1・グラフ1)

* けがの発生時には、その都度学年の実態に合わせて安全指導をしているが、H22年度は低学年のけがの発生が目立った。(表2・グラフ2)

* 運動会の練習の5月と季節的にもっとも活動しやすい時期の10月・11月に発生件数が多い。(表3・グラフ3)

* H22年度の2月の災害発生は0だったが、3月の災害発生が7件と多発した。

グラフ3

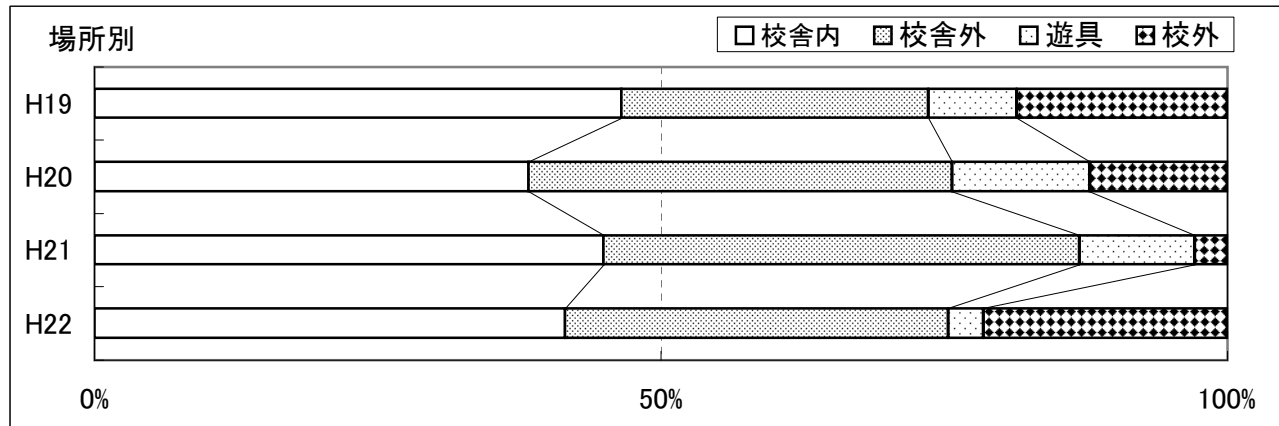


<場所別>

表4

		H19		H20		H21		H22		H23	
校舎外	運動場	39	60	25	41	19	34	20	27	8	10
	校庭	9		2		2		2			
	龍神山	5		6		6		1			
	校門	0		1		0		0			
	石階段	4		2		5		2			
	脱靴室	3		3		2		2			
	その他	0		2		0		0			
校舎内	教室	14	35	16	40	13	29	5	22	2	8
	階段	3		4		3		5			
	廊下	7		5		5		1			
	渡り廊下	0		2		0		0			
	体育館	9		10		5		11			
	その他	2		3		3		0			
遊具	うんてい	4	10	2	13	2	7	1	2	1	1
	クモの巣ネット	0		1		0		0			
	シーソー	0		2		2		0			
	ターザンロープ	1		1		0		0			
	タイヤとび	3		2		1		1			
	ブランコ	0		3		1		0			
	鉄棒	2		2		1		0			
校外	通学路	12	24	10	13	2	2	13	14		0
	道路	0		2		0		0			
	その他	12		1		0		1			
合計		129		107		72		65		19	

グラフ4



<傷病別>

表5

			H19		H20		H21		H22		H23	
傷	首から上のけが	口・歯のけが	15	40	17	50	6	28	6	30	4	6
		眼のけが	7		12		5		1			
		顔面のけが	12		14		9		11		1	
		頭部のけが	6		6		6		8			
		首のけが	0		1		2		3			
		耳のけが							1		1	
頭部以外の切挫創			5		4		5		3		2	
別	捻挫	足部・下肢	13	34	9	25	12	20	1	9	2	2
		手部・上肢	21		16		8		8			
	骨折	指・趾	9	23	6	13	2	9	2	7	1	1
		下肢	4		2		4		0			
上肢・鎖骨		10		5		3		5				
打撲・その他			27		15		10		16		3	
合計			129		107		72		65		14	

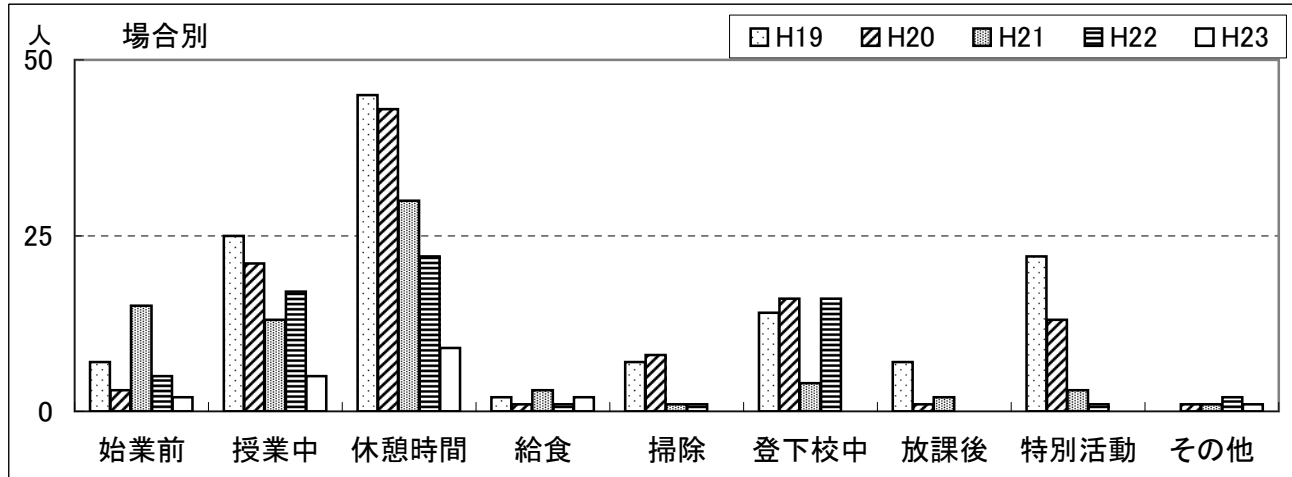
傷病名が不明なものは数値に入れていません

<場合別>

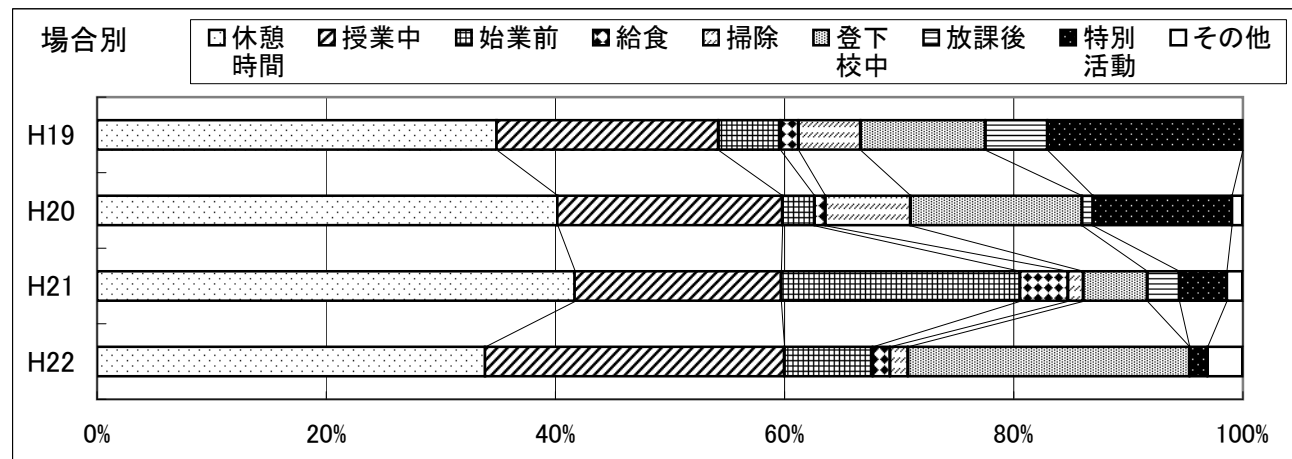
表6

	始業前	授業中	休憩時間	給食	掃除	登下校中	放課後	特別活動	その他	合計
H19	7	25	45	2	7	14	7	22	0	129
H20	3	21	43	1	8	16	1	14	1	108
H21	15	13	30	3	1	4	2	4	1	73
H22	5	17	22	1	1	16		1	2	65
H23	2	5	10	2						19

グラフ5



グラフ6



* 場所別、場合別からも見てわかるように、H22年度は、登下校中の通学路のけが多い。
(表4・表6・グラフ4・グラフ5・グラフ6)

* 傷病別では、今年度は、首から上のけが増加している。転んだ時、とっさに手が出ないなど、危険予知能力の向上が必要である。

* これまで取り組んできた日々の安全指導を引き続き行い、健康安全チェックカードによる安全への意識づけ、児童保健委員会活動や学級指導による健康・安全への取り組みを充実し、けがの予防に努めていく。